

鮭川出張所 河川愛護モニタ－通信

真室川小学校の児童から国交省鮭川出張所への質問・報告と、出張所の回答をご紹介します。

いつも (質問1) 冬の寒い日は川の流^{なが}れが遅^{おそ}く、逆に暖^{あたた}かい日は流^{なが}れが速^{はや}くなっているような気がします。(真小1月の報告)



どうして川の速度は変わるのかな？

川の速度は、川を流^{なが}れる水^{みづ}の量^{りょう}によって違^{ちが}ってきます。
冬は夏に比べて雨^{あめ}の日^ひが少^{すく}なく、降^ふった雪^{ゆき}も融^とけず^ずに積^つもります。そのため、川の水^{みづ}の量^{りょう}はグッと減^へり、川はゆっ^ゆっくり流^{なが}れるようになります。逆に冬でも暖^{あたた}かい日は、雪^{ゆき}が融^とけて川に流^{なが}れ出すため、寒^{ひや}い日に比べて水^{みづ}量^{りょう}が増^あえ、流^{なが}れが速^{はや}くなります。

どうして水^{みづ}量^{りょう}が増^あえ^{ると}流^{なが}れが速^{はや}くなるの？



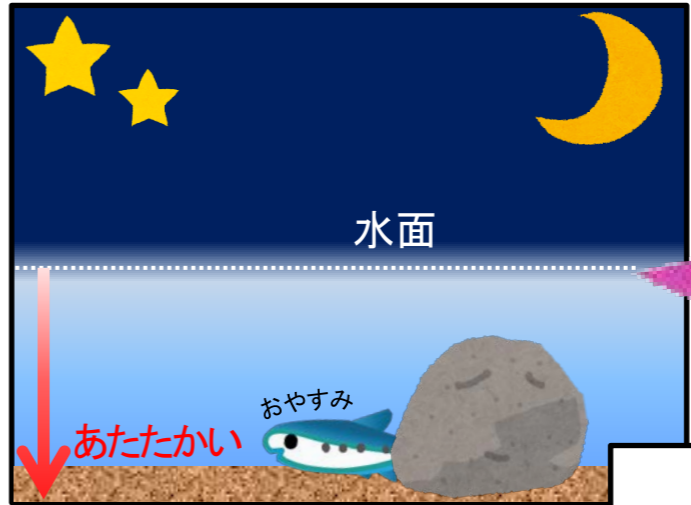
上の写^{しやう}真^{しん}は極^{きよく}端^{たん}な例^{れい}ですが、川の水^{みづ}が少^{すく}ないときと多^{おほ}いときのもので、左^{ひだり}と右^{みぎ}の写^{しやう}真^{しん}を比^ひべて、ど^どちらの流^{なが}れが速^{はや}く見^みえるでしょう？ 一般^{いっぱん}的^{てき}には、水^{みづ}の深^{ふか}さが深^{ふか}いほう^が、川^{がわ}の流^{なが}れは速^{はや}くな^{って}いま^す。
これ^これ^こら^ら春^{はる}にか^かけて気^き温^{おん}が上^あがり、雪^{ゆき}融^とけが進^{すす}むので、川^{がわ}の流^{なが}れも今^{いま}ま^まで以^い上^{じやう}に^に変^かわ^わっ^てい^きま^す。

(質問2) 冬は川の水^{みづ}温^{おん}が下^{くだ}がっていると思^{おも}いますが、魚^{いし}は冷^{ひや}たい水^{みづ}の中^{なか}でも泳^{およ}げるのですか？



実は、この時期^{このとき}の魚^{いし}は...

川^{がわ}を泳^{およ}ぐ魚^{いし}は、急^{きゆう}激^{げき}な暑^{あつ}さや寒^{ひや}さに弱^{よわ}い生^{せい}き物^{ぶつ}です。だから、冬^{ふゆ}の寒^{ひや}い時^{とき}期^きは、比^ひ較^{かく}的^{てき}暖^{あたた}かい場^{ばう}所^{じよ}にいま^す。た^たと^とえ^えば、1日^{いちにち}の中^{なか}で最^もも冷^{ひや}え込^こむ朝^{あさ}晩^{ばん}は、川^{がわ}底^{そこ}の岩^{いわ}など^に隠^{かく}れてじ^じつ^つとしていま^す。
また、日^ひ中^{ちゆう}日^{じつ}差^さし^が出^でれば、太^{たい}陽^{やう}の熱^{ねつ}で暖^{あたた}かくな^った水^{みづ}面^{めん}に行^いき、活^{かつ}動^{どう}を始^{はじ}め^ます。



太陽^{たいやう}が沈^{しず}んでいる時^{とき}間^{かん}帯^{たい}や大^{だい}雪^{せつ}の日^ひは、水^{みづ}面^{めん}の温^{おん}度^どがと^とつ^つても低^ひい^いんだ。そ^そう^うい^いう^う時^{とき}は、あ^あま^まり^り動^{どう}か^かず^ずに、地^ち面^{めん}に^に近^{ちか}い^い場^{ばう}所^{じよ}で休^{やす}んでいま^すよ

太陽^{たいやう}が出^でていま^すと、水^{みづ}面^{めん}か^から温^{おん}度^どが上^あが^がっ^てい^いく^くんだ。泳^{およ}いでいま^する魚^{いし}が見^みら^られる^のは、暖^{あたた}かい日^ひなん^だね！

川^{がわ}の水^{みづ}面^{めん}は、外^{がい}気^きの温^{おん}度^どが伝^{つた}わり^わり^わす^すい^いん^だね

